



全国に広がる 12,000 名の在 student と
62,000 名の卒業生が、
ひとつにつながり明日を変える。

集まればもっと強くなる

TEAM、福祉力。

Since 1953
日本福祉大学

広告特集
企画・制作
朝日新聞社広告局

日本の未来に福祉の力を



**相手の視点で考え、支え合う福祉力が
TEAM「つながり」によって強くなる。**

日本福祉大学
学長 加藤幸雄氏

「ふくし」の本質はすべての人が幸せに生きられること。その中心にあるのは、「いのち」「くらし」「いきがら」です。「ふくし」は今や、社会福祉のみならず、あらゆる領域に広がっており、それを社会で支えようとする求められています。

そんな中で日本福祉大学は今年、「TEAM、福祉力」というコンセプトを打ち出しました。「TEAM」をつなぐ「E」と訳すと、その意味がわかりやすいと思います。自殺、虐待、引きこもりなど、今、社会が直面する問題の大きなキーワードは孤立、孤独であり、その対極にあるのが「つながり」です。人は、誰かにつながった時の方が力を発揮することができ、本当の自立を促されます。そして「福祉力」は、相手の立場になって幸せを考え、



地域にチームの力があつたらこんな事件は起こらなかったのに、と思えるケースが少なくありません。ひとつの例が、2007年、大阪府堺市で病院職員が入院患者を連ねたして公園に置き去りにした事件です。

患者さんは、糖尿病で全盲になった63歳の男性です。離婚後一人暮らしで、退院を拒み続けて7年あまり入院していました。他の患者さんとはトラブルが絶えず、入院費約185万円を滞納するなど、確かに問題は多かったです。病院職員は困り果てた挙句に、公園に捨てたわけです。しかし患者さんにとっては失明による絶望、退院してどうやって生きていけばいいかわからない不安から、病院にしがらまがなかったのでしょう。もし、医療者、自治体、福祉関係者がチームを組んで退院後、地域で生活できる受け入れ体制を整えていたら、こんな悲しい事件は起こらなかったのではないのでしょうか。

高齢化が進むこれからの社会には、援助が必要な人も、頼れる家族のいない単身者も増えていきます。地域では医療、自治体、福祉3者の緊密な連携がますます求められています。また、公的援助だけでなく、身近で、ちょっとしたことを補い合える地域住民の協力、「住民力」も



少子高齢化などでサポートの必要性が高まる社会で、「TEAM、福祉力」はますます不可欠なものになっていきます。

人と人のつながりが薄れた今だから、そこに意義があります。「ふくし」の総合大学として、歴史的にもメッセージを発信していく責務を担っており、今がまさにそれを実践する時期なのです。

望むのは、「愛」で支え、尊厳を守りながら
フォロワーができるチーム体制。

僕は現役で仕事をしているし、役者の夫婦だし、老々介護の例といっても参考にならないかもしれない。それでも批判承知で自分たちのことをさらけ出したのは、世の中に認知症のことをもっと知ってもらいたかったんです。僕ができないこともたくさんあったけど、全て一人でできたわけじゃない。留守させるを得ない時は、初めの頃はお手伝いさんに無理に頼んで、専門家を知ってからは、24時間体制でお願いする人の方法を代わって頼んでいました。でも、そうするとすごく高いんですよ。普通じゃとても無理だと思ふ。僕は知識不足もあって、介護保険の制度を利用しなかったけど、社会の力を借りなきゃならないケースが山とあるのが現実。人手不足や精神的ケアの問題もある。

そんな中、福祉をチーム体制でやっているとこういっているのは、多角的に捉えられるし、意義あることじゃないかな。みんなに「がんばりすぎない」と声をかけてもらって感謝しているよ。でも、悲劇じゃなくて楽しかった。「愛」が難しいけど、きつと義務感ややらなきゃならぬ「愛」なんですよ、根底にあるの。それが「愛」される側、する側の両者の支えになる。何も「愛」だけじゃなく、福祉全てに言えるじゃないかな。

大切なのは目線。見下ろさず、尊敬を傷つけない、痛みを共に感じる。洋子が僕の親父を介護した時、「お義父さん、介護するのって辛いよ」洋子さん、される方も辛いよと、痛みを共有できたらしい。だから親父は俺より



り洋子がよく、たんだろうな。介護する人さんされるが、弱者と強者あっちゃいけないんだよ。僕が洋子と専らと持ち上げてやるのができなかったよ。僕が洋子と専らと持ち上げてやるのができなかったよ。僕が洋子と専らと持ち上げてやるのができなかったよ。僕が洋子と専らと持ち上げてやるのができなかったよ。



元朝日新聞論説委員・日本福祉大学客員教授 川名紀美氏

絶対が必要。社会を構成する全その人が福祉の視点を持ち、他の人に「共感」する力を育てなければなりません。一人ひとりが当事者であり、「TEAM、福祉力」の一員である。その意識を持つことが大切です。

そして、よいチームになくはならないのが医療、行政、福祉、住民をよりよい形で結びつけるコーディネーターの存在です。それぞれの力や得意分野を開放してネットワークをつくり、地域に合った支援のシステムを築いてマネジメントする専門家が求められます。

その役割を果たせるのは、大学で福祉の幅広い専門教育を受けた人材ではないでしょうか。いま、大学には重い課題が課せられているのです。

福祉のチカラが、
これからの日本を支える。

2010年度出願受付中!

正科生：2010年3月31日まで（消印有効）
科目等履修生・特修生：2010年8月31日まで（消印有効）

入学説明会開催（予約不要）

北海道	2/20(土) 2/21(日)	東京	1/23(土) 2/7(日) 2/20(土)	神奈川	2/6(土)
千葉	2/13(土)	群馬	1/16(土)	宮城	1/30(土)
長野	1/30(土)	富山	1/16(土)	静岡	2/7(日)

その他のエリアでも入学説明会を開催中です。詳しくはHPをご覧ください。

インターネットシステム	スクーリング	取得可能資格(正科生)
24時間いつでも学習。	全国24カ所で開催 週末中心の2日間完結型。	社会福祉士 国家試験 全国大学No.1の実績 第21回合格者数 835名 通信課程：451名 通学課程：384名
インターネットで添削課題・科目修了試験の受験やスクーリング単位の取得が可能。	新たに富山でも開催 北海道 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 石川 新潟 長野 岐阜 静岡 浜松 愛知 三重 大阪 兵庫 岡山 広島 香川 福岡 沖縄	NEW 社会福祉士法改正に対応 取得可能な資格 社会福祉士国家試験受験資格 AFP資格審査試験受験資格 ○3年次編入学も新カリキュラムで学習できます。 ○実務経験により現場実習が免除されます。

■短期大学、専門学校、高等専門学校を卒業した方は3年次編入学が可能。他にも2年次、4年次編入学制度があります。(各種資格取得も可能)
■取得している資格や検定合格を卒業単位として認定する単位認定制度。 ■志望理由書による入学審査のため入学試験はありません。
■本学園同窓会、および同窓会員の推薦を受けた方を対象にした学費等の減免制度を設けています。 ■経済的に無難のない単位制学費。5.6年かけて卒業する場合でも、学費負担を抑えられます。